

14-2 カムイユカラ

「オキクルミ ヘペレ (ノオ)」

オキクルミと小熊

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=ノオ

now o o^[1]

V ウ オキクルミ

オキクルミ

V u Okikurmi

V アイヌ アオナハ

人間である私の父が

V aynu a=onaha

V オトウ サナシケ

2度の礼拝

V otu sanaske

V ウウエノイエ コロ

礼拝を繰り返し

V uenoye kor

V ウ クルカシケ

そうしながら

V u kurkaske

V イタク オマレ

言葉をかけて

V itak omare

エネ オカ ヒ

こう言った

ene oka hi

V アコロ ヘペレ ポ

「私の小熊よ

V a=kor heper po

V ピリカノ アラパ	無事に行くことを
V pirkano arpa	
V エキ ナンコン ナ	してください。
V e=ki nankor_ na	
エネ アン クニ	このようにするべきだ
ene an kuni	
V ヘカチ エネ クシ	あなたはまだ子供なので
V hekaci e=ne kus	
V ラムイサム ペ エネ クシ	何もわからないものなので
V ramuysam pe e=ne kus	
V イナウ エコロ ヤッカ	イナウをお前が持っても
V inaw e=kor yakka	
V エムセコロ ヤッカ	刀を持っても
V emus e=kor yakka	
V エエシノツ ワ	それで遊んで、
V e=esinot wa	
エエニキツキク	木をバンバン叩いて
e=enikikkik	
V エエニタウキ	木に切りつけ
V e=enitawki	
V エウエンテ クス	だめにするので
V e=wente kusu	
V ヘル クワンノ	ただ、ひたすらに、
V heru kuwanno	

チトウイェ クワ ^[2] cituye kuwa	伐った杖を
V エシテコロサム V e=sitekorsam	手に
V ウ ウンテ カネ V u unte kane	持って
V ホサリ ペントク V hosari pentok	振り返りも
V ヘキル ペントク V hekiru pentok	振り向きも
エエウンケシケ e=eunkeske	しないで
V タアナコロ ペッ V taan a=kor pet	この私たちの川を
シシリムカ Sisirmuka	沙流川を
V タアナコロ ペッ V taan a=kor pet	この私たちの沢
V ウ ペッ トウラシ V u pet turasi	づたいに
V エアラパ アイネ V e=arpa ayne	行ったら
V トウ ペッ ネ アン マ V tu pet ne an w_a	二つに分かれていて

V コイカ ワ クシ ペッ V koyka wa kus pet	東の方を通る川
V ウ レヘ タシ V u rehe tasi	名前こそ
V チュペリキン ペッ V cuperikin pet	日の上る川
V カムイ リキン ペッ V kamuy rikin pet	神の上る川
V ウ ネ ルウエ ネ V u ne ruwe ne	というのだ
V チュッポク ワ クシ ペッ V cuppok wa kus pet	西の方を通る川
レヘ タシ rehe tasi	名前は
V チュポラカン ペッ ^[3] V cup orakan pet	日の沈む川
カムイ ラカン ペッ kamuy rakan pet	神が沈む川
V ウ ネ ルウエ ネ V u ne ruwe ne	そういう川なのだ
V ペッ ウトウル ウシ ペ V pet utur us pe	川の間にあるもの
カムイ ヌプリ kamuy nupuri	神の山だ

V ウ チェカント オロ	天に向かって
V u cekanto or	
ウ ソイパ カネ	そびえている
u soypa kane	
V カムイ ヌプリ	神の山
V kamuy nupuri	
V ランケ ウェンクツ	下の方の崖
V u ranke wenkut	
ノイワン ウェンクツ	六つの崖
noiwan wenkut	
V ウ リク…… リクン ウェンクツ	上の方の崖
V u riku... rikun wenkut	
ノイワン ウェンクツ	六つの崖に
noiwan wenkut	
チエオカリ	とり囲まれた
cieokari	
V カムイ ヌプリ	神の山
V kamuy nupuri	
V アン ルウエ ネ ワ	あって
V an ruwe ne wa	
V チュプカシケ エコロ アイヌ	その東にあなたの父で
V cupkaske e=kor aynu	
エコロ カムイ カムイ エオナハ	あなたの父である神
e=kor kamuy kamuy e=onaha	

V ウ レヘ タシ V u rehe tas	その名前は
シララ メキヨ ^[4] Sirar mekiyo	岩のメキヨ
V カムイ メキヨ V Kamuy mekiyo	神のメキヨ
ウ ネ ルウエ ネ u ne ruwe ne	というのです
V カムイ エウヌフ エコツ トット V kamuy e=unuhu e=kor_ totto	あなたの神の母、あなたの母親
レヘ タシ rehe tasi	その名前は
エチュ……… チュペシカンマツ ^[5] e cu... Cupesikanmat	太陽の巡る女
V カムイシカンマツ V Kamuysikanmat	神の巡る女
ウ ネ ルウエ ネ u ne ruwe ne	というのです
V ウ ネ ワ アンペ V u ne wa an pe	そうであることが
エエペヌプル クス e=epenupur kusu	親似ですぐれているので
V エアラケヘ ワ V e=arkehe wa	あなたの片方から

V ワッカ チャラセ ^[6]	水が流れ落ちて
V wakka carse	
V エアラケ ワ	あなたのもう片方に
V e=arke wa	
チュプ ノカ オマ ^[7]	太陽の姿が描かれ
cup noka oma	
V キルウエ ネ クス	そうあるので
V ki ruwe ne kusu	
V カムイ エオナハ	神であるあなたの父の
V kamuy e=onaha	
オロ タ エアラパ	ところへ行って
oro ta e=arpa	
ネア ヌプリ チュプカシケ	その山の東側の方に
nea nupuri cupkasike	
シ アフンポル ^[8]	大きな洞窟が
si ahunporu	
V アン ルウエ ネ クス	あるので
V an ruwe nekusu	
ウ ポル カリ	洞窟を通過して
u poru kari	
V エアフン キ ワ	入って行って
V e=ahun ki wa	
V カムイ エオナハ オロ タ	神であるあなたの父のところに
V kamuy e=onaha oro ta	

エアラパ ヤクン e=arpa yakun	行ったら
エシソウン マ esisoun w_a	右座の方に
V エハラキソウン V eharkisoun	左座の方に
エアパアッカリ e=apaakkari	戸口の前を行ったり来たり
V キワネ ヤクン V ki wa ne yakun	そうするなら
アエエアパマカ ワ a=e=eapamaka wa	戸があげられて
エアフン ヤクン e=ahun yakun	あなたが入ったら
V ウ ホシキノポ V u hoskinopo	まっ先に
エコロ マラット e=kor maratto	あなたが供物を持って
V ホシキノ アラパ V hoskino arpa	先に行って
アエエケウトウムウエン (?) [9] a=e=ekewtumwen(?)	お前は気持ち悪がられて
カムイ オピッタ kamuy opitta	神様みんなが

V ウエカリ ワ	集まって
V uekari wa	
ピリカ マラット	立派な宴会が
pirka maratto	
V ウ アン コロ シラン	開かれているでしょう。
V u an kor siran	
V キ ワ ネ ヤクン	そうしたら
V ki wa ne yakun	
イテキ エア ノ	座らないで
iteki e=a no	
V ウ ソンコ アツパ	伝言の始まりを
V u sonko atpa	
エピタ カネ	解いて
e=pita kane	
V ウ ソンコ サラケシ	伝言の最後を
V u sonko sarkes	
エアッテ カネ	掛けて
e=atte kane	
V エソンコイェ ヤクン	伝言を伝えるなら
V e=sonkoye yakun	
V アエコプンテク キ ナ	喜ばれるでしょう」
V a=ekopuntek ki na	
V セコロカイ ペ	ということを
V sekor okay pe	

オキクルミ
Okikurmi

オキクルミ

V アイヌ アオナハ
V aynu a=onaha

人間の父が

V (ここから散文)
V

オトウサナシケ ウエノイエ
otusanaske uenoye

礼拝して

コロ イエ ルウエ ネ ヒクス
kor ye ruwe ne hikusu

言っているので

エネ アイエ イ ネクス
ene a=ye h_i nekusu

そう言われたので

ネノ ペツ トウラシ
nenno pet turasi

その通りに川づたいに

チトウイエ クワ
cituye kuwa

切られた杖を

シテコロサムウンテ カネ
sitekorsam'unte kane

手に持って

アラパアン アイネ ソンノ ポカ
arpa=an ayne sonno poka

私が行ったら、本当に

アコロ ペツポ アラパ アイネ
a=kor petpo arpa ayne

私達の沢に行くと

トウ ペツ ネ アン マ
tu pet ne an w_a

沢が二つに分かれていて

カムイ ヌプリ アン ルウエ ネ
kamuy nupuri an ruwe ne

神の山があったのです

チュプカシケヘ
cupkaskhehe

その東に

アコロ カムイ アオナ
a=kor kamuy a=onaha

神である父は

コアパアシンケ^[10]
koapaasinke

戸を開けている (と)

アイイエ プ ネクス
a=i=ye p nekusu

言われたものなので

アラパアナクス ソンノ ポカ
arpa=an akusu sonno poka

私が行くと、本当に

シアフンポル アン ルウエ ネ
siahunporu an ruwe ne

大きな洞窟があったのです

アコルカリ
a=korukari

その道を通して

アフナナクス
ahun=an akusu

入ったところ

ソンノ ポカ イエトコ ウン
sonno poka i=etoko un

本当に私の前方に

ピリカ マラット アン ハウエ
pirka maratto an hawe

立派な宴を開いている声を

アヌ コロ アフナニネ
a=nu kor ahun=an h_inē

聞きながら私は入って

オロワノ エシソウン マ orowano esisoun w_a	それから右座の方へ
エハラキシウン アパアッカリアナ (プ) eharkisoun apaakkari=an a (p)	左座の方へ戸口の前をうろうろすると
アイエアパマカ a=i=eapamaka	戸が開けられて
アフナン エネ アイェ ネ プ ahun=an ene a=ye ne p	入って、言われたとおり
ソモ アアン ノ somo a=an no	座りもせずに
ソンコ アッパ アピタ カネ sonko atpa a=pita kane	伝言の始まりを解き
ソンコ サラケシ アアッテ カネ sonko sarkes a=atte kane	伝言の終わりを掛けながら報告して
ソンコイエアナクス sonkoye=an akusu	伝言を伝えると
オロヤチキ イコンヌアン ^[11] マ oroyaciki ikonnu=an w_a	思うに私は化け物であって
イコンヌ ペウレプ ^[12] アネ アアン マ ikonnu pewrep a=ne aan w_a	化け物の若熊だったので
カムイ アオナハ kamuy a=onaha	神である私の父が
シアペパスイ エリケカッタ siapepasuy erikekatta	太い火箸をさっと振り上げ

カムイ アウヌフ
kamuy a=unuhu

神である私の母が

シアペケシ エリケカッタ
siapekes erikekatta

薪の燃えさしをさっと振り上げ

アイキク^[13] コレアシロロ タ
a=i=kik kor easir oro ta

殴られてはじめて、そこで

インカラナクス
inkar=an akusu

見ると

ケナシ ウナラペ イケシケ ワ
kenas unarpe i=keske wa

湿地の化け物婆が私を呪って

イコンヌアン ネ
ikonnu=an ne

私は化け物になって

アアン ルウエ ネ ナ
aan ruwe ne na

いたのですよ。

タネ オカ ペウレブ
tane oka pewrep

今いる若熊たちよ

アイヌ オルン
aynu or un

人間に

アエエカシヌカラ チキ
a=e=ekasnukar ciki

授けられても

イテキイ イコンヌ ヤン^[14]
iteki ikonnu yan

決して人を呪わないようにしなさい。

セコロ カムイ ハウエアン
sekor kamuy hawean

と、熊が言いました

セコン ネ ヤカイエ
sekor_ ne yak a=ye

という話よ。

パクノよ～
pakno よ～

おしまい。

【注】

- [1] 本編の類話が、『神話集成』カムイユカラ編Ⅱに、「アイコンヌ ペウレブ」として、同じ鍋沢ネプキさんの語りで収録されている。ただし、本編とは別の録音であり、ところどころ詩句が違っている。また、金田一京助(1924)『アイヌの神典』に「化熊を誑して送った話」として、訳のみで掲載されている。語り手は鍋沢コポアヌで、大正8年12月14日の筆録とされている。また鍋沢元蔵も同じ話を伝承しており(中川・遠藤 2015 『国立民族学博物館所蔵鍋沢元蔵ノートの研究』)、鍋沢一族に語り伝えられる話であった可能性もある。『アイヌの神典』でのサケへは「ノーウウ。ノーウウ」となっており、サケへからも同一の話であることが感じられる。ただし、細かい部分は各話で色々と異なる。
- [2] cituye kuwa e=sitekorsam u unte kane : 後でわかるが、この熊は「化け物」にされてしまった熊である。そのために、通常のイオマンテで持たされるようなイナウも与えられず、刀も持たされず、ただ木を切っただけの杖を持たされたということである。
- [3] cup orakan pet : 金田一『アイヌの神典』では、チュペシカンペツ・カムイシカンペツとなっていて、訳はつけられていない。『久保寺辞典稿』では「chup-eshikan pet, kamui eshikan pet 日廻り川, 神廻り河」とある。一方 rakan という語は「小魚が産卵するために一か所に集まる」(『萱野辞典』)ことを表し、cep orakan pet であれば「魚が群れる川」と訳せる。しかし、ここでははっきりと cup orakan と発音している。esikan というのも語義不明な言葉なので、おそらく pet 「川」の名前だということで、cup esikan を cep orakan と混同して、cup orakan という名前になってしまったのだろう。したがって「魚が群れる川」と考えていた可能性もあるが、ここでは cuperikinpet 「日の上る川」と対になっているのだから、「日の沈む川」と訳しておくことにする。なお、『神話集成』では、これを cep orakan pet と聞いて「魚が群れる川」と訳しているが、録音を聴く限りでは cup orakan pet と発音している。
- [4] Sirar mekiyo Kamuy mekiyo : mekiyo は意味不明。
- [5] Cupesianmat : 前述の川の名前と違って、ここでは『アイヌの神典』と同じく、cup esikan mat kamuy esikan mat となっている。川ではないので、rakan という動詞は誘導されなかったのだろう。ここでは『アイヌの神典』にしたがって「太陽の巡る

女」と訳しておくが、erikin と対になっていたはずであるから「太陽の沈む女」と訳すべきかもしれない。

- [6] e=arkehe wa wakka carse : これは Sirar mekiyo 「岩のメキヨ」を父親に持つということで、岩としての性質を身にまとっているということである。
- [7] e=arke wa cup noka oma : これは Cupesikanmat 「太陽の巡る女」を母親に持つということで、太陽の性質を身にまとっているということである。
- [8] ahunporu : この言葉は「あの世への入り口」を指すことが多いが、この奥にいるのは熊の親である。ということは、これは熊の巣穴ということになるので、「洞窟」と訳すことにする。
- [9] a=i=ekewtumwen(?) : 笑いながら言っていて、はっきり聞き取れない。こう言っているかどうかは不確定だが、笑うような内容のことを言っているのだとすれば、本当はオキクルミが言っただけとはいけないはずの、「お前は化け物だ」ということを、ここでちょっと面白がって挟んでみたということも、考えられる。
- [10] koapaasinke : ko- 「～に向かって」 apa 「戸口」 asinke 「～を出す」。熊の巣穴のことなので、「戸口を外に出す」という言い方をしている。
- [11] ikonnu は「呪いをかける」という意味なので、ikonnu=an をそのまま訳せば「私は呪いをかける」となるのだが、それでは、次ページの kenas unarpe i=keske wa 「湿地の化け物婆が私を呪って」とつながらない。したがって、ここでは ikonnu を「呪いをかけられて化け物となった」という意味で解釈している。『神話集成』では、同じ表現を「その呪いにかかった私は」と訳し、その次のオラ ネ ora ne 「そして」という文に対して「アイヌに悪さをしたゆえに」という訳をつけている。これはやはり ikonnu=an を 2 行にわたって解釈していると見るべきところである。ちなみに『アイヌの聖典』では、実の父親が Sirara mekiyo Kamuy mekiyo、実の母親が Cupesikanmat Kamuysikanmat であるという出自によって、化け物とされていることになっている。
- [12] ikonnu pewrep : 『アイヌの神典』の「お化熊」の原文もおそらくこれだと思われる。ここでは呪われて化け物となったという解釈をしている。
- [13] a=i=kik : 他の伝承では、出自のせいで化け物になったことになっているので、それを解き明かしたオキクルミに感嘆するという展開になる。したがって、本編のように仔熊を叩くというような展開にはならない。
- [14] iteki ikonnu yan : 話の展開からは、むしろ「呪われないようにしなさい」なのだが、ikonnu 自体は「呪う」という意味なので、こう訳した。『アイヌの神典』などの類話を見る限り、この仔熊は誰かを呪っているわけではなく、ただの熊とは違う出自を持つものとして、恐るべき存在ということだったと思われるが、この話では kenas unarpe などを登場させたために、ikonnu の意味することが不明になっている部分がある。